

608年、推古天皇・聖徳太子の時代
飛鳥文化を但馬に伝える謎の大刀 ぼしんねんめいたち

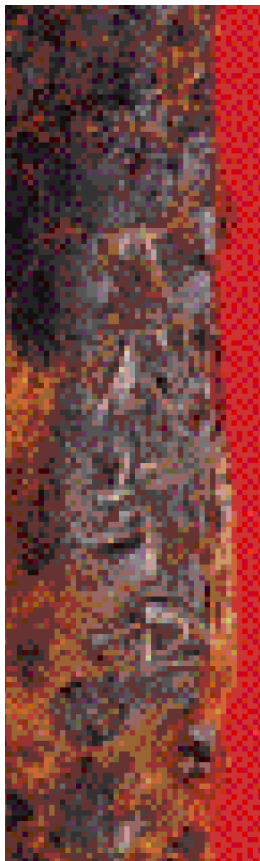
戊辰年銘大刀



戊辰年銘大刀 ● boshinnenmetaiti



【戊辰年銘大刀のレプリカ】
正倉院の宝物を参考に、復元された大刀。黒漆塗りの鞘に入っています。金色に輝くのは金メッキをした鞘の金具。切先は奈良時代に多いカマス切先です。(八鹿町蔵)



【戊辰年銘大刀】
出土した大刀の現物。(兵庫県立歴史博物館保管)
約1400年前の文字が現代人にも読めます。

は他にもありますが、銅は日本最古で唯一の文字という貴重なものです。書風はのびのある柔らかな筆勢で書かれ、全体として中国六朝的な様相を残しています。特に「五」の字は丸くふくらんだ円筆という特色があります。現代人にも読むことができる鮮やかな美しい文字を、だれがどこで、何のためにつくらせたのでしょうか？自然と疑問がわいてきます。

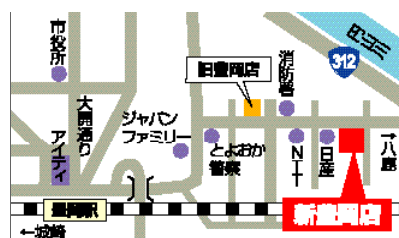
銘文入り大刀は、中国や日本の古代国家において、王が土地と人民を支配する象徴としてつくられた特別な刀剣だといわれています。日本では9本しか見つからない大変珍しいものです。その中でも、年号の入っているものは、八鹿町で出土した戊辰年銘大刀(国の重要文化財)と埼玉県稲荷山古墳で見つかった辛亥年銘鉄剣(国宝)の2本だけ。しかも、この鉄刀は、奈良・正倉院に伝わる大刀の原形ともいえる「圭頭大刀」と呼ばれる形式であることも判明しました。大和朝廷から命じられ、飛鳥地方にいたる渡来系氏族のような特別な技術者が制作したもので、古代国家の政治史を知るうえで、貴重な学術資料です。

昭和58年8月、八鹿町小山つるぎが丘公園の建設に先立つ埋蔵文化財調査で、箕谷2号墳から百点以上の遺物とともに一本の鉄刀が出土しました。X線検査の結果、サびついた刀身に文字の刻まれていることが判明。その後、奈良国立文化財研究所の調査で、銅で象嵌された、戊辰年五月(中)の六文字が判読されました。銅象嵌とは、鉄の地金にタガネで溝を刻んだ上から、0.2mm〜0.4mmという細かい銅線を打ち込んで文字や図像をあらわす技法のこと。金や銀の象嵌

戊辰年は西暦六八年。推古天皇や聖徳太子が活躍していた時代です。この年、遣隋使として中国へ渡っていた小野妹子が帰国。その際、随の国史である裴世清を大和に案内しました。中国からの使節が大和朝廷を訪れるのは初めてのことでした。中国や百濟、高句麗の文化の影響を強く受けながら、中央集権体制を強固にしていった大和朝廷。そこから、戊辰年銘大刀を贈られた但馬地方には、すでに強大な地方政権が存在していたと考えられるのです。

携帯電話・PHS・モバイル商品のことなら

新規ご契約から
故障修理まで



営業時間AM9:00~PM6:30 年中無休
駐車場も広く便利になりました

ドコモショップ豊岡店 TEL. 0796-24-7373 <http://www.e-koe.co.jp/> 豊岡市九日市下町161-1

【発掘された当時の2号墳】(昭和58年)

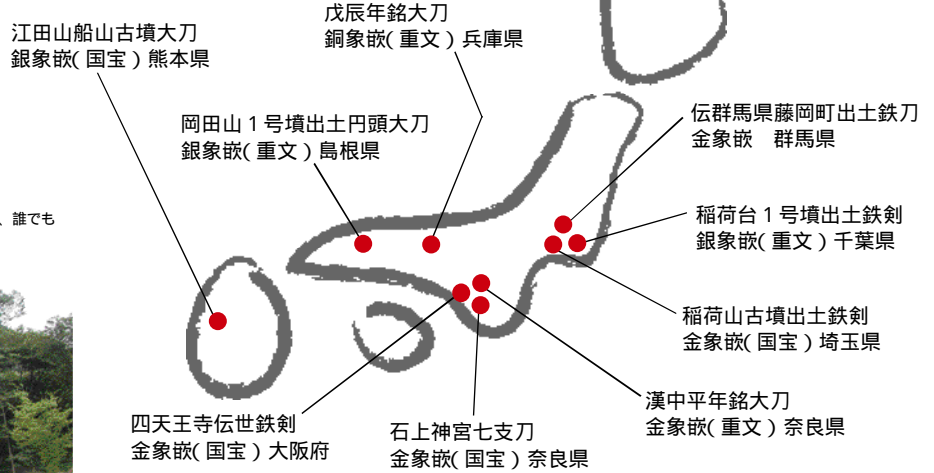


【箕谷古墳群】

国指定史跡に指定されています。現在、つるぎが丘公園として整備され、誰でも気軽に楽しんで見学ができるようになっています。



但馬遺産 戊辰年銘大刀 boshinnenmeitai



【2号墳の横穴式石室の内部】
埋葬者を中心において、その人の右側には土器や短い直刀を置き、左側には矢がありました。戊辰年銘大刀もここで発見されました。ここにあるのは、埋葬した当時に復元したものです。内部の様子はガラスの天窓から見ることができます。



当時、但馬国を支配した豪族を「くまのくに国造」といいます。但馬最大の大型古墳が、彼らの墓地だといわれています。箕谷2号墳に埋葬された人物は、「この国造とともに但馬国の統治に大きな貢献を果たした有力者」とみられています。しかし、但馬にいたのでは、こうした大刀を入手することは困難です。但馬国から飛鳥の都に派遣された人物と考えられているのです。

西暦六 八年、遣隋使が初めて中国の使節団を連れて帰国し、推古天皇

03点の出土品が国指定重要文化財となりました。では、これほど貴重な大刀が、なぜ八鹿の小さな古墳に埋葬されたのでしょうか。その理由は現在も謎のままですが、一つの仮説があります。

箕谷2号墳は現在、大刀にちなんで「つるぎが丘公園」として整備され、誰でも見学できるようにになっています。2号墳には天井石一枚を取って特別製強化ガラスの天窓をつくり、内部が見えるようになっていました。このような古墳の整備は全国でも初めての試みです。戊辰年銘大刀は兵庫県立歴史博物館に保存・展示されています。

協力：八鹿町教育委員会

皇や聖徳太子の出迎えを受けています。こうした国家的な行事に大きな貢献を果たした人物という可能性もあります。都での任期を終え、大刀を賜与されて帰国し、飛鳥で学んだ古墳文化や中央集権という政治のしくみを但馬の国づくりに役立てたと推測されています。

箕谷古墳群では、4基の古墳がいずれも南に入口を開いています。北を背にして山を負い、南が開けるといふ明るい地形です。これは飛鳥や奈良の都と同じ土地の選び方で、四神相応しじんそうおうの基本となる風水思想による選地が採用されているといわれています。箕谷古墳では、飛鳥文化によく見られる風水思想に従って古墳がつけられているのです。石を組み上げてつくられた古墳の中で、古代の刀剣の謎が1400年も静かに眠っていました。

これからのきらめき。

あなたの大切な年金をたんしんが守ります。

きららにおまかせください。

■きららうれしい特典がいっぱいです。お気軽にご相談ください。

[普通預金] 300万円まで店頭表示金利+金利上昇せ
 [きらく] 350万円まで店頭表示金利+金利上昇せ
 [きらく+] 350万円まで店頭表示金利+金利上昇せ

但馬信用金庫

本店 / 豊岡市中央町17-8 TEL0796(23)1200
http://www.tanshin.co.jp/